

イーストスプリング  
新興国スタープレイヤーズ

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2025年10月25日～2026年4月24日

第15期 2026年4月24日決算

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として新興国の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

日経新聞掲載名：新興国スター

第15期末(2026年4月24日)

基準価額	24,227円
純資産総額	625百万円
第15期	
騰落率	26.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

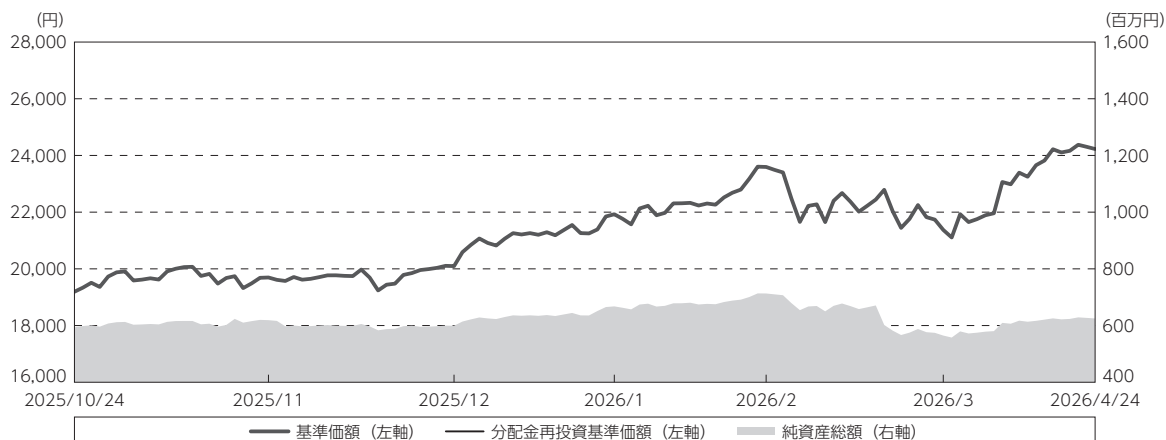
&lt;運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法&gt;

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2025年10月25日～2026年4月24日)



期 首：19,193円

期 末：24,227円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 26.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年10月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有する株式が上昇したこと。
- ・新興国通貨が円に対して上昇したこと。

# 1万口当たりの費用明細

(2025年10月25日～2026年4月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	208	0.987	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(116)	(0.548)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 87)	(0.411)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 6)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.035	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 7)	(0.035)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	10	0.048	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 10)	(0.048)	
(d) そ の 他 費 用	170	0.808	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 77)	(0.366)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 9)	(0.045)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
( そ の 他 1 )	( 83)	(0.393)	キャピタルゲイン税、信託管理事務に係る手数料、インドおよび台湾の税務代理人に対する手数料等
合 計	395	1.878	
期中の平均基準価額は、21,093円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

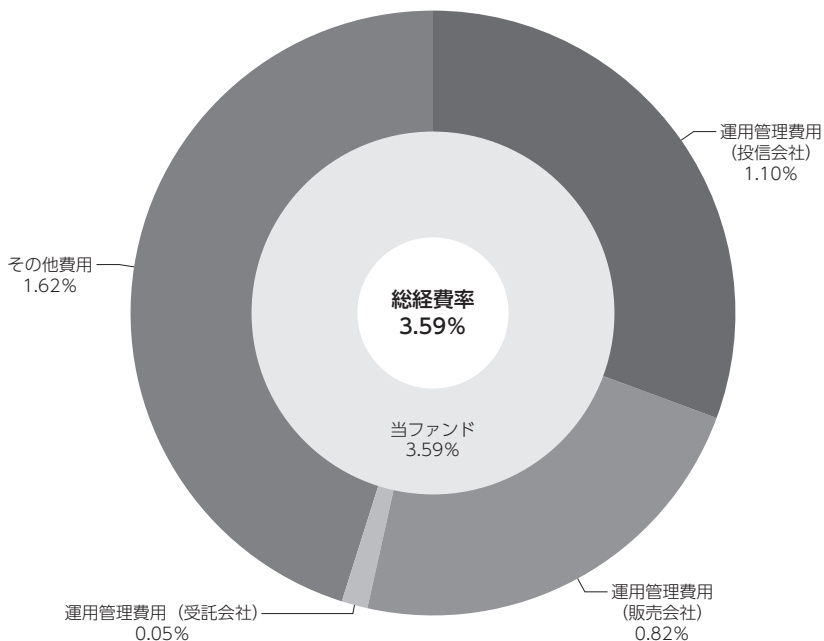
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.59%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年4月26日～2026年4月24日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2021年4月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年4月26日 決算日	2022年4月25日 決算日	2023年4月24日 決算日	2024年4月24日 決算日	2025年4月24日 決算日	2026年4月24日 決算日
基準価額 (円)	14,815	12,943	12,536	14,503	14,071	24,227
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 12.6	△ 3.1	15.7	△ 3.0	72.2
純資産総額 (百万円)	2,502	2,027	1,674	771	499	625

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### 新興国株式市場

新興国株式市場は、期初から2025年末まで横ばいの推移となりました。対米関税交渉の進展や好調なAI需要などがプラス材料となった一方、米国を中心にAI分野における過剰投資リスクが意識されたことや、米国の利下げ期待が後退したことなどがマイナス材料となりました。年初からはAI向け半導体需要に対する期待が再び高まったほか、金属価格の上昇による恩恵が見込まれたことから、関連銘柄やセクターが市場の上昇をけん引しました。しかし2026年3月には中東情勢の悪化を背景とした原油価格の高騰を受けて、高インフレ、景気減速への警戒感が強まり、株式市場は調整しました。その後は米国とイランとの協議に向けた動きなどから停戦期待につながり株価は反発しました。その結果、当期の新興国株式市場は上昇しました。期中における国別の値動きでは、半導体関連銘柄がけん引した韓国や台湾などが上昇した一方で、競争激化懸念からインターネット関連銘柄の下落が目立った中国や、大手指数算出会社MSCIが情報開示に懸念を表明したことが嫌気されたインドネシアなどは下落しました。またセクター別の値動きでは、情報技術や資本財・サービスなどが上昇した一方で、一般消費財・サービスやコミュニケーション・サービスなどは下落しました。

### 為替市場

期初から良好な米国経済を示す経済指標の公表や米国の利下げ期待の後退などを受けて2025年11月上旬まで米ドル高が進行しました。その後、米国の財政赤字拡大への懸念や雇用市場の減速を示す雇用統計を受けて利下げ期待が台頭したことで、米ドルは下落しました。しかし2026年3月には、中東情勢の悪化を背景とした原油価格の高騰を受け、高インフレ、景気減速への懸念が意識され、安全資産とされる米ドルが一時的に買われ、上昇しました。その後は、停戦に向けた協議への期待から、米ドルは再び下落しました。

新興国通貨は、中東からの原油輸入に依存しているアジア諸国を中心に、多くの通貨が対米ドルで下落しました。一方で、中南米諸国の通貨などは上昇しました。円は日銀の金融政策正常化の遅れや、日本政府の積極財政姿勢を受けた財政悪化懸念などから円安が進み、当期は対米ドルで下落しました。当期、多くの新興国通貨は対円で上昇しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資しました。

### イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド

主として新興国の株式に投資を行うことにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。投資にあたっては、「ROIC（投下資本利益率）」、「業界内での競争優位性」、「株価の上昇余地」、「ESG（環境・社会・ガバナンス）理念」に着目して銘柄選択を行い、ポートフォリオ構築を行いました。当期は台湾のTSMCや韓国のサムスン電子などの株式の保有がプラスとなった一方で、中国のテンセントやアリババグループなどの株式の保有がマイナスとなりました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第15期
	2025年10月25日～ 2026年4月24日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,227

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）—印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式へ投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指します。

### イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド

新興国企業の約3割（時価総額ベース）については、原油価格の上昇が収益に対してマイナスに作用するとみられています。しかしながら、仮にこれらの企業における今年の予想収益成長率がゼロ成長まで減速するという厳しいシナリオを想定した場合でも、好調なテクノロジー需要やコモディティ価格の上昇による恩恵を受ける企業の収益がけん引することから、原油価格上昇による今年の新興国企業全体の利益成長率への影響は限定的になるとみています。一方で、中東情勢を背景とした原油高などエネルギー価格の上昇を受けて、新興国におけるインフレ懸念や金融政策に対する不確実性が意識され、リスク資産に対して市場参加者が一時的に慎重な姿勢を示し、ボラティリティも上昇しています。このような環境下では、収益率を維持できる高い競争力を持つ企業を選別することが重要です。銘柄選定においては、企業の競争力を測る上で、強固なバランスシートを有し、高いキャッシュフロー創出能力があるという点も重視しています。引き続き、「ROIC（投下資本利益率）」、「業界内での競争優位性」、「株価の上昇余地」、「ESG（環境・社会・ガバナンス）理念」の4つの柱に着目して運用を行ってまいります。なお、保有するロシア株については情勢の先行き不透明感やESGリスクの観点など総合的な側面から判断して取引状況を注視しながら売却を進める方針です。

## お知らせ

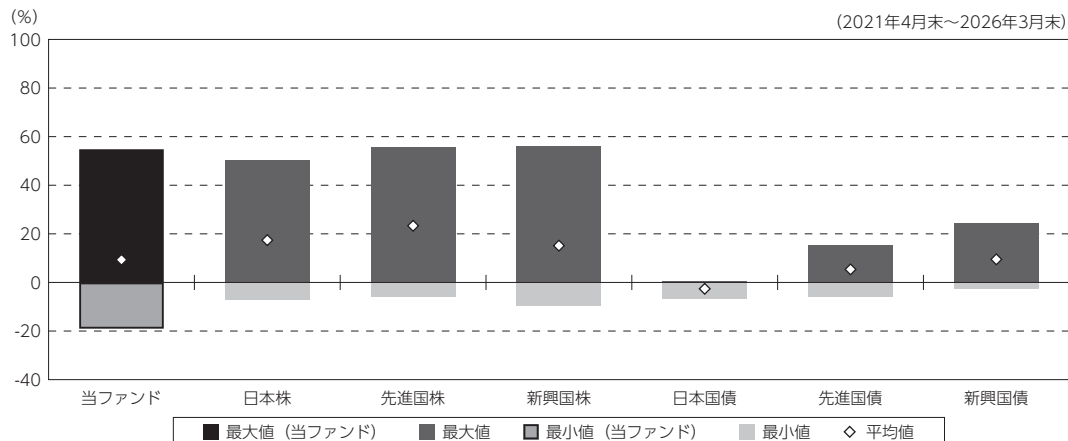
2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2018年10月26日から2028年10月24日まで	
運用方針	主として新興国の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング 新興国スタープレイヤーズ	イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・ サステイナブル新興国 株式マザーファンド	新興国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング 新興国スタープレイヤーズ	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング・ サステイナブル新興国 株式マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年4月24日および10月24日。休業日の場合は翌営業日。）に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	54.8	50.5	55.7	56.3	0.6	15.3	24.5
最小値	△ 19.0	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	9.3	17.4	23.3	15.1	△ 2.6	5.4	9.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年4月から2026年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

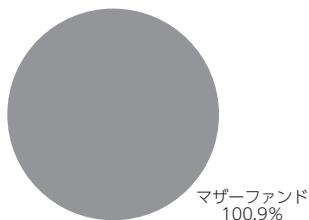
#### ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第15期末
イーストスプリング・サステイナブル新興国株式マザーファンド	100.9%
組入銘柄数	1銘柄

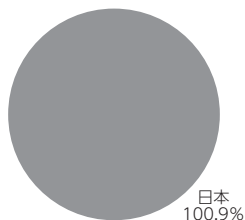
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

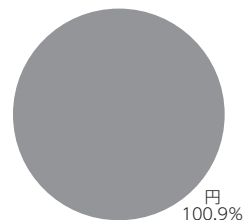
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

### 純資産等

項 目	第15期末
	2026年4月24日
純 資 産 総 額	625,010,245円
受 益 権 総 口 数	257,976,607口
1万口当たり基準価額	24,227円

(注) 当期中における追加設定元本額は19,224,825円、同解約元本額は70,627,600円です。

# 組入上位ファンドの概要

## イーストスプリング・サステナブル新興国株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2025年10月25日～2026年4月24日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	9 (9)	0.035 (0.035)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	12 (12)	0.048 (0.048)
(c) その他費用 (保管費用) (その他1)	184 (89) (95)	0.756 (0.364) (0.392)
合計	205	0.839

期中の平均基準価額は、24,295円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

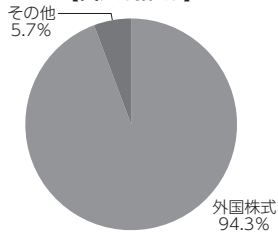
【組入上位10銘柄】

(2026年4月24日現在)

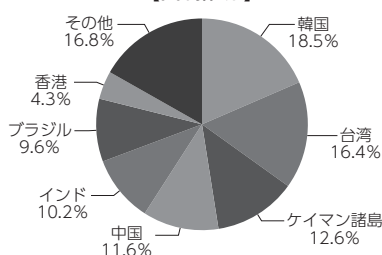
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 TSMC/台湾セミコンダクター	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	9.4%
2 サムスン電子	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	7.2%
3 テンセント・ホールディングス	メディア・娯楽	香港ドル	ケイマン諸島	4.4%
4 SKハイニックス	半導体・半導体製造装置	韓国ウォン	韓国	3.9%
5 アリババ・グループ・ホールディング	一般消費財・サービス流通・小売り	香港ドル	ケイマン諸島	2.9%
6 エリート・マテリアル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	新台幣ドル	台湾	2.9%
7 中国巨石	素材	中国人民幣(オフショア)	中国	2.9%
8 アクトン・テクノロジー	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	新台幣ドル	台湾	2.6%
9 サムスン電子(優先株)	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	2.5%
10 寧徳時代新能源科技	資本財	中国人民幣(オフショア)	中国	2.3%
組入銘柄数	52銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

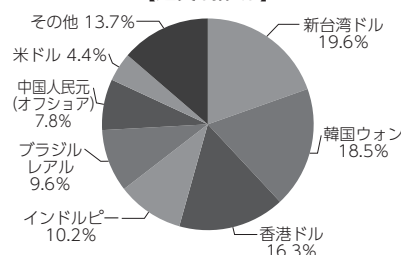
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

### ○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。